

ルール・道具を一部変更しました
名前をイメージしやすいように、ボール運び列車 としました

(2) - 17

活動名	バルーントロリー(★★)	分類	ふれあいプログラム
準備	風船(人数分+予備)、障害物(カラーコーンや跳び箱)	対象	小学生以上
ねらい・効果	リーダーの立ち位置や役割、あり方についてみんなで考える。	人数	10人以上
安全配慮事項	障害物の位置や高さなどに注意する。また、風船が割れる大きな音が苦手な人がある場合は、ボールなどで代用する。	時間	45分程度
手順	チームで、前後の人と風船を挟んで1列になり、目的地に移動するアクティビティである。縦1列になっているためコミュニケーションがとりにくく、意思疎通がなかなかうまくいかない。不安定な風船のため、臨機応変に指示を出したり、声をかけたりすることが必要になる。		
	1 10人ほどのチームをつくり、1人1個の風船を準備する。チームで1列になり、風船を前の人の背中と自分の胸や腹に挟んで20mほどのコースを歩く。歩くときは、前の人の肩につかまって歩く。先頭の人には風船を手を持つ。 2 時間内にゴールを目指す。並び方は自分たちで考える。風船が落ちたり手で触ったりしたらスタートに戻ってやり直し。 3 途中で、「失敗したら先頭の人を最後尾にまわり、2番目の人が先頭になる」というルールを追加して、繰り返しチャレンジする。		
言葉がけ例	「他のチームとの競争ではないから、勝ち負けは関係ありませんよ」 「リーダーはどこにいて、何をするのがよいのかな」		
効果的な支援	実は最後尾にいる人が最も状況が見える人で、声も指示も的確に出せるポジションであることに気付かせる。 先頭が「ちゃんとついてきて！」とグイグイ引っ張ると、後ろはついてこられず、風船が落ちてしまう。コツは後ろに体重を委ねながら、後ろの人の支えを受けつつ前に進むこと。真のリーダー性を考える上での示唆となる。		
備考			

風船への恐怖心をもつ生徒に配慮し、さまざまなボールを使用しました